

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科											
資格対策講座 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	妹尾彩子、神谷菊江			実務経験	有	職種	ビジネスマー講師				
担当教員紹介											
企業研修講師派遣会社所属のレッスン講師。マイクロソフト・アプリケーションの使用法など、さまざまなビジネスソフトの講義を経験している。											
授業概要											
学生全員が 1 台ずつパソコンを使用できるパソコン実習教室にて実習形式で講義を展開し、Microsoft社製Officeソフトの概要と使用方法がマニュアル化された教科書を使いながら講師が説明していきます。Officeソフトの概要を伝えるだけでなく、それぞれの機能がビジネスシーンにおいてどのように活用されているかの実例を示しながら授業を行っていきます。またタイピング練習を毎回必ず実施し、ブラインドタッチの習得を目指してタイムアタックをします。											
到達目標											
国内企業のほぼ100%で取り入れられているMicrosoft社製のOfficeソフト「Word」「Excel」「Power Point」の3点を自在に使いこなせるレベルで習得する。「Word」では時候の挨拶を添えたビジネス文書の作成、「Excel」では実際に表計算機能を活用し、簡単な関数を理解してビジネスシーンに置いて実務で取り入れられる程度の技術を学びます。「Power Point」ではただ文字を並べるだけでなく、プレゼンテーションをしたい内容の写真や表を貼り、文字にもアニメーションを施して、見る側の目を引くスライドの作成を学びます。また毎回の講義でタイピング練習を実施し、タイムアタック形式でブラインドタッチを習得します。											
授業方法											
この講義ではひとりひとりがパソコン本体に触れて操作に慣れていくことを学習目的とする。国内企業のほぼ100%で取り入れられているMicrosoft社製のOfficeソフト「Word」「Excel」「Power Point」の3点の基本的な使い方を習得すると共に、ブラインドタッチができるレベルのタイピング習得を目指します。パソコンに対する苦手意識を払しょくして、パソコンを使って仕事することを前提に、ビジネスにおける必要なスキルをマスターします。定期的に行われる確認テストにて理解度を明確にし、補習が必要な学生に関しては補習を行い、学生全員が同じ理解度になるようにします。Power Pointの項目では作成したスライドを使って実際にプレゼンテーションを行います。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
パソコン実習室で作成したすべてのデータを保存するために、各自USBメモリを準備することが必須となります。また毎回の講義で講師が実際に操作している画面をプロジェクターで投影しながら説明を行います。手順を見落としてしまうと作業が滞ってしまう可能性があるため、その際には講師に声を掛けて、手順に追いつく必要があります。パソコンは精密機器のため、パソコン実習室は飲食禁止です。提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	高度なグラフ作成…複合グラフの作成、補助縦棒グラフ付き円グラフの作成、スパークラインの作成										
第2回	関数について…関数の入力方法、ふりがなの表示、データ個数のカウント、条件付きカウント										
第3回	条件付き書式…条件付き書式の設定										
第4回	練習問題の答練										
第5回	参考学習										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科	
資格対策講座2	
第6回	復習
第7回	EXCELまとめ試験実施
第8回	プレゼンテーションの作り方…新規作成、スライド縦横比、テーマ、プレースホルダー、タイトル
第9回	アニメーションの設定、プレゼンテーションの印刷、別のアプリのデータを利用する
第10回	課題プレゼン作成作業
第11回	課題プレゼン作成作業、発表時のポイント、コツの説明、全体発表の流れ確認
第12回	全体発表の流れ確認
第13回	グループの中でプレゼン発表&評価、グループ内の代表決定
第14回	代表発表者の評価、全体の総評
第15回	1年間に学んだ事をおさらい